

令和7年度 第2回長野市社会福祉審議会地域福祉専門分科会 会議録

[日 時] 令和8年1月29日（木） 午後1時15分から午後2時45分まで

[場 所] 長野市役所 第一庁舎7階 第1・2委員会室

[出席者] 委 員 16名中13名出席（うちオンライン 1名）

事務局等 保健福祉部長ほか8名

地域包括ケア推進課1名

長野市社会福祉協議会地域福祉課2名

長野市社会福祉協議会相談支援課2名

1 開 会

2 あいさつ

3 新委員紹介

4 会議事項

（1）議事事項

第四次長野市地域福祉計画の中間評価報告書について <資料N o 1>

第五次長野市地域福祉計画の策定について <資料N o 2、N o 3>

【事務局等】

資料N o 1、N o 2、N o 3に基づき説明

《 質疑応答 》

【委員】

第四次長野市地域福祉計画では、計画の推進体制として、府内の関係部局で構成された組織と市民参加の長野市地域福祉推進会議を組織し、進捗管理や地域の課題を洗い出しながら、進捗を図っていくことになっていたと思うが、実際は、そういうものは組織されていなかったのか。

【事務局等】

長野市地域福祉推進会議は第四次計画の進捗管理のために、計画開始時の令和4年度に組織されている。直近では、令和7年12月24日に開催した。

【委員】

その会議でどのような事が話し合われたのか。

また、どのような方が、会員となられているのか。

【事務局等】

第四次計画の進捗管理を行う会議体なので、本日と同様に、第四次計画の中間報告等を行った。また、会員の皆様に対し、引き続き、第五次計画の策定についてもご協力いただきたい旨のお願いをし、ご了承をいただいたところである。

なお、長野市地域福祉推進会議の会員名簿については、後日お示したい。

【委員】

なぜこのようなことをお聞きしたかというと、先ほど事務局から、第五次計画の策定にあたり、作業部会を設置しないという説明があり、市民参加で策定するはずの計画に、市民が加わることなく、行政だけで策定するというのは不思議に思ったからである。

また、計画の推進体制についても市民参加の仕組みが作られているのか、確認したかった。

【事務局等】

第五次計画の策定にあたり、作業部会を設置しない方針とすることについて、第四次計画策定にあたり組織された作業部会には、住民自治協議会から選出された方が 32 名おり、今回実施した地区訪問の中で『第四次計画には、作業部会で話し合った内容が、ほとんど反映されていない』というご意見を多数いただいた。これは、策定段階で、様々な課題を列挙してもらったものの、課題の大きさや内容も様々であったため、集約が難しく、計画に反映することが難しかったのであろうと推測される。

また、第一次計画から第四次計画に記載されている課題を並べると少子高齢化に起因する課題が多く、作業部会を設置したとしても、これ以上の課題は出てこないのではないかと考えている。

このため、作業部会を設置するのではなく、各課題について、知見のある本専門分科会の委員や、長野市地域福祉推進会議の会員に個別に意見を伺いながら骨子案・素案を作成し、これをそれぞれの会議の中で評価をいただきながら計画策定を進めていきたいと考えている。

【委員】

計画策定における市民の参加は、非常に重要なポイントだと思うので、しっかりと検討していただきたい。

市民参加の計画を作ると言ってるのに、その仕組みを作らないのはおかしいと思う。

【事務局等】

全く市民が関わらないということではなく、住民自治協議会の全体会議の中で骨子案を示しながらということも考えているので、またご相談させていただきたい。

【事務局等】

貴重なご意見をいただいた。市民参加を謳いながら市民が参加せず、行政だけで第五次計画を策定していくのはいかがなものか、とのご意見と理解している。地域福祉計画は、市民の皆様に実践していただく、地域福祉推進の指針となるものであることから、市民が策定に参加することは非常に大切なことと考えている。

先ほどご説明したとおり、長野市地域福祉推進会議を始め、市民が参加する会議体を活用、そこで意見を吸い上げ、計画を策定していきたいと考えている。

(2) 報告事項

ア 重層的支援体制整備事業について<資料N o4>

イ 孤立防止・見守りネットワーク地域支援事業について<資料N o5>

【事務局等】

資料N o4、N o5に基づき説明

《 質疑応答 》

なし

ウ 地域福祉ワーカー及び生活支援コーディネーターの今後の方向性について

【事務局等】

資料「地域福祉ワーカー及び生活支援コーディネーターの今後の方向性について」に基づき説明

《 質疑応答 》

なし

5 その他

特になし

6 閉 会